

島根県立石見美術館 コレクション展

「陰と影」の開催について

島根県立石見美術館では、コレクション展「陰と影」を下記の通り開催いたします。  
つきましては、ご多忙のところとは存じますが、取材及び報道のほど、是非ともお願いいたします。

記

1. 会 期 2月6日(木)～3月16日(月)  
休館日＝毎週火曜日(2月11日は開館)、2月12日
2. 会 場 島根県立石見美術館 展示室B(グラントワ内)

3. 展覧会概要

影とは、光が物体に遮られ、光源と反対側に現れる暗い部分を指します。元々は光を表すことばであり、光が遮られることで見えてくる、ものの姿や形、黒い部分などを表すようにもなりました。絵画や写真においては、影をうまく表現できるかどうか、ものの立体感を表現する際の要となります。

対して陰は、物に遮られ、日光や風雨が当たらないところのことをいい、光と必ずしも対になるものではありません。見えなくなったところを指すことから、転じて、目の届かないところ、表には出てこない内に秘めた心(多くの場合が暗い部分)を意味することもあります。

本展ではこのように意味の異なる二つの「かげ」という言葉に注目し、アーティストが捉えた光の表現が影によって特徴付けられている作品や、「見えないところ」のある作品をご覧ください。

4. 展示作品

写真、版画、衣装など約30点の展示を予定。



【図版キャプション】

マーティン・ムンカッチ

《ニューヨーク万国博覧会

『ハーバース・バザー』1938年9月号より》

1938年 島根県立石見美術館蔵

5. 関連トークイベント「みるみると見てみる？」

日時：2月15日(土)、29日(土)、3月7日(土) 各日14:00～(40分程度)

参加無料(ただし、観覧券またはミュージアムパスポートが必要)

協力：みるみるの会

※別途、民間の配信サービスを利用し情報発信する予定です。